



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月10日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経理部長 (氏名)青木 経一郎 (TEL)03(3899)2101
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,859	1.9	951	6.8	979	7.7	645	4.4
2019年3月期第3四半期	7,711	4.8	890	5.6	909	5.6	618	6.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 769百万円(31.2%) 2019年3月期第3四半期 586百万円(△9.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	197.38	—
2019年3月期第3四半期	187.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,676	13,074	77.2
2019年3月期	16,814	12,643	74.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 12,875百万円 2019年3月期 12,448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注)1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2019年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 10円00銭
 2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,100	2.5	1,330	2.4	1,350	2.3	910	4.5	266.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	3,420,000株	2019年3月期	3,420,000株
2020年3月期3Q	157,220株	2019年3月期	117,220株
2020年3月期3Q	3,269,471株	2019年3月期3Q	3,302,823株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、相次ぐ自然災害による一時的な経済への減速が見られたものの、企業業績や雇用情勢の改善が続き、景気は緩やかな回復基調の中で推移いたしました。一方海外では、米中の貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱などの影響が懸念されるなど、依然として先行きの不透明な状況が続きました。

医療・介護・福祉業界は、高齢者人口の増加を背景とした需要の増大とニーズの変化に対応すべく、医療機能の分化と連携、ICT化推進などの効率化が求められております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は7,859百万円（前年同四半期比1.9%増）、連結営業利益は951百万円（前年同四半期比6.8%増）、連結経常利益は979百万円（前年同四半期比7.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は645百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、日帰り手術の増加等医療技術の進歩や医療機関数の減少、DPC（包括医療制度）導入病院の増加などを背景として、医療用酸素ガスの消費量が年々減少傾向にある厳しい事業環境が続きました。このような環境のもと、24時間緊急対応が可能な医療用ガスの供給体制を維持し、「保安と安定供給」を第一義とした事業運営に徹しつつ、新規顧客の獲得と新しいビジネスモデルの開拓などに取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は2,516百万円（前年同四半期比0.8%増）、セグメント利益は228百万円（前年同四半期比11.3%減）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、学会への出展や病院内でのPR活動などきめの細かい営業活動を展開し、自社開発の高機能リモコン「パレット」を搭載した酸素濃縮器「WESTELLA（ウイステラ）」は、着実に市場への浸透と新規顧客の獲得を進めることができました。また、利用者数の増加に伴い市場規模の拡大が顕著な「CPAP」（持続陽圧呼吸療法）も好調に推移いたしました。

また、安心・安全で納得のできる質の高い医療の実現と、医療従事者の負担軽減など診療サポートに寄与できるアイテムとして「オンライン診療システム」の提供も堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は3,403百万円（前年同四半期比3.4%増）、セグメント利益は520百万円（前年同四半期比12.1%増）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療用ガス設備工事が、建築価格の高騰、競合他社との受注競争の激化等を背景に、原価低減に努めてまいりました。消火設備工事については顧客ニーズに対応した営業活動を継続して実施してまいりました。

これらの結果、売上高は542百万円（前年同四半期比18.3%減）、セグメント利益は85百万円（前年同四半期比29.5%増）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連商品のレンタル及び販売部門において、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業強化が奏功し、レンタル売上が順調に推移いたしました。

また、訪問看護・居宅支援事業所は、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション巣鴨」（東京都文京区）、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション王子」（東京都北区）の3拠点を事業基盤として、地域へのPR活動強化による認知度アップとスタッフの増員など運営体制の強化に努めました。

これらの結果、売上高は536百万円（前年同四半期比5.8%増）、セグメント利益は45百万円（前年同四半期比19.5%減）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）の、24時間看護師常駐、地元医療機関との連携強化などの付加価値サービスの提供を通じて、ご入居者様、ご家族様に「安心と安全」をお届けすることをモットーとした運営管理に徹し、新規ご入居様の確保に努めました。さらに、2017年に着手した体制再構築活動の成果も発現しつつあり、入居率は改善傾向で推移いたしました。

また、通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）、「あしつよ巣鴨」（東京都豊島区）、「あしつよ王子」（東京都北区）は、地元に着したサービスの提供と新たな顧客ニーズの発掘に努め、稼働率アップを図りました。

これらの結果、売上高は253百万円（前年同四半期比4.8%増）、セグメント利益は3百万円（前年同四半期セグメント損失26百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は16,676百万円（前連結会計年度末比137百万円減）となりました。これは主に、有形固定資産が1,295百万円、投資有価証券が202百万円増加し、現金及び預金が1,326百万円、受取手形及び売掛金が349百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は3,601百万円（前連結会計年度末比568百万円減）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が461百万円、未払法人税等が107百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は13,074百万円（前連結会計年度末比430百万円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払い及び自己株式の取得等により利益剰余金が464百万円、その他有価証券評価差額金が124百万円増加し、自己株式が157百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,436,383	7,109,405
受取手形及び売掛金	2,233,299	1,883,727
たな卸資産	96,247	170,756
その他	78,988	126,654
貸倒引当金	△4,762	△3,324
流動資産合計	10,840,156	9,287,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	672,491	945,147
土地	2,370,654	3,323,904
その他(純額)	1,225,188	1,294,775
有形固定資産合計	4,268,334	5,563,826
無形固定資産		
投資その他の資産	16,915	17,451
投資有価証券	886,100	1,088,949
その他	809,516	720,579
貸倒引当金	△6,786	△1,781
投資その他の資産合計	1,688,829	1,807,747
固定資産合計	5,974,080	7,389,025
資産合計	16,814,236	16,676,244
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,907,444	1,445,698
未払法人税等	221,763	114,756
賞与引当金	111,400	59,000
その他	981,205	1,073,972
流動負債合計	3,221,813	2,693,427
固定負債		
役員退職慰労引当金	461,610	469,290
長期預り金	—	5,557
その他	487,076	433,496
固定負債合計	948,686	908,343
負債合計	4,170,499	3,601,771

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	11,494,215	11,958,884
自己株式	△201,450	△359,250
株主資本合計	12,242,653	12,549,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,268	305,996
退職給付に係る調整累計額	24,749	19,668
その他の包括利益累計額合計	206,017	325,664
非支配株主持分	195,066	199,286
純資産合計	12,643,737	13,074,473
負債純資産合計	16,814,236	16,676,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	7,711,245	7,859,674
売上原価	3,735,366	3,731,951
売上総利益	3,975,878	4,127,723
販売費及び一般管理費	3,085,644	3,176,566
営業利益	890,234	951,157
営業外収益		
受取利息	2,152	2,110
受取配当金	13,784	16,743
受取保険金	2,165	8,349
その他	7,045	11,509
営業外収益合計	25,148	38,712
営業外費用		
支払利息	6,223	6,540
その他	—	3,789
営業外費用合計	6,223	10,330
経常利益	909,159	979,539
特別利益		
固定資産売却益	1,035	—
資産除去債務戻入益	—	18,704
その他	—	74
特別利益合計	1,035	18,778
特別損失		
固定資産売却損	—	421
固定資産除却損	110	32,938
ゴルフ会員権評価損	—	9,550
特別損失合計	110	42,909
税金等調整前四半期純利益	910,084	955,408
法人税等	286,005	306,231
四半期純利益	624,079	649,177
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,974	3,855
親会社株主に帰属する四半期純利益	618,105	645,321

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	624,079	649,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34,448	125,388
退職給付に係る調整額	△3,436	△5,376
その他の包括利益合計	△37,885	120,011
四半期包括利益	586,193	769,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	585,452	764,968
非支配株主に係る四半期包括利益	741	4,219

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,495,946	3,292,030	664,798	507,621	241,780	7,202,176	509,069	7,711,245
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	73,503	—	—	73,503	—	73,503
計	2,495,946	3,292,030	738,301	507,621	241,780	7,275,679	509,069	7,784,748
セグメント利益 又は損失(△)	257,706	464,072	65,794	56,372	△26,350	817,595	72,638	890,234

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	817,595
「その他」の区分の利益	72,638
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	890,234

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,516,809	3,403,562	542,823	536,855	253,273	7,253,324	606,349	7,859,674
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	74,956	—	—	74,956	—	74,956
計	2,516,809	3,403,562	617,779	536,855	253,273	7,328,280	606,349	7,934,630
セグメント利益 又は損失(△)	228,655	520,124	85,172	45,392	3,900	883,245	67,911	951,157

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	883,245
「その他」の区分の利益	67,911
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	951,157

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。